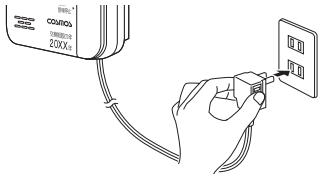


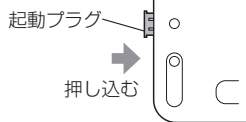
4 取り付け後の点検

4-1 初期動作の点検

① LPガス検知・警報部の電源プラグをコンセントに差し込む。
LPガス検知・警報部の緑（電源）ランプがCO検知部と無線通信確立まで最大2分間点滅します。



② LPガス検知・警報部の緑（電源）ランプが点滅している間に、CO検知部の起動プラグを押し込む。
CO検知部の緑（おしらせ）ランプが点滅を開始し、無線通信の確認を行います。



③ 約30秒後に「警報器正常です 電波が受信できています」と鳴り、LPガス検知・警報部の緑（電源）ランプが点灯し、警報器は監視状態に入ります。
CO検知部の緑（おしらせ）ランプは電源投入から約30秒後に消灯します。



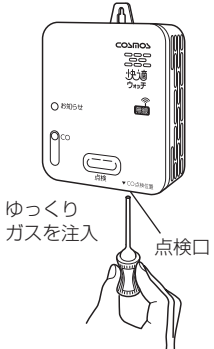
※ LPガス検知・警報部の緑(電源)ランプが点滅している間に、CO検知部の電源がON状態にならないと無線通信エラーとなり「ビッビッビッ電波が受信できていません」と鳴ります。
無線通信エラーになった場合は、CO検知部の点検スイッチを押して無線通信が正常になることを確認してください。
※ 警報器が故障の場合は、「ビッビッビッ警報器故障です」が鳴ります。
販売店に連絡してください。

9

<CO検知部の点検方法>

① 採取管の先端部分の温度が下がるまで（約30秒程度）待ってください。

② 採取管の先端部分をCO検知部底面のスリットから少し離して、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入してください。

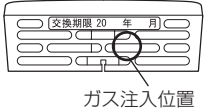


おねがい

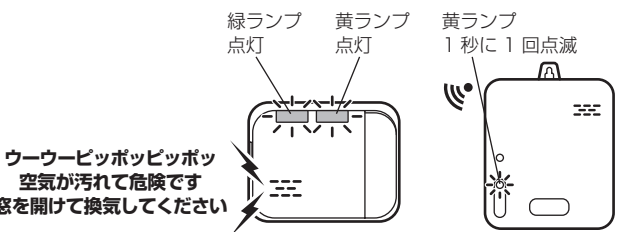
緑(お知らせ)ランプが点滅している間（電源投入から約30秒）はガス掛け点検を行わないでください。この間、ガスを掛けてもセンサは反応せず、警報は発しません。

△ 注意

点検ガス採取器の先端をCO検知部の中に差し込まないでください。
故障の原因となります。



③ LPガス検知・警報部の黄ランプが点灯し、CO検知部の黄ランプが点滅してLPガス検知・警報部側で警報音が鳴れば、正常です。



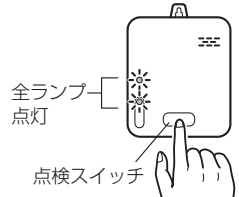
※ ガスを注入しても、警報を発しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。
それでも警報を発しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。

13

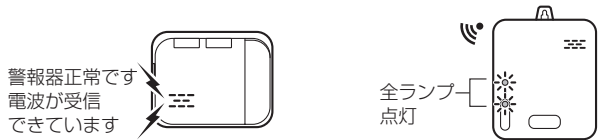
4-2 無線通信確認

下記の要領でLPガス検知・警報部とCO検知部間の通信状態を確認することができます。

① CO検知部の点検スイッチを押すと、ランプが約1秒間全点灯します。



② 通信状態が正常であれば、CO検知部のランプが約2秒間全点灯し、同時にLPガス検知・警報部側で「警報器正常です 電波が受信できています」が鳴ります。



※ 通信エラーの場合は、①の動作後、②の動作はありません。
その場合は、CO検知部の位置を移動させて、もう一度CO検知部の点検スイッチを押して、LPガス検知・警報部側が「警報器正常です。電波が受信できています。」と鳴ることを確認してください。
※ LP検知・警報部のスイッチを押しても、無線通信確認をすることができます。
その場合は、CO検知部のランプは点灯しません。

10

5 警報音声の確認

LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを操作することで音声の確認ができます。

<ガス・CO警報音声>

① LPガス検知・警報部の警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始、そのまま3秒間押し続けてください。
「ビッビッ」と開始音が鳴ります。
② 警報停止スイッチを離すと以下のように作動することを確認してください。

動作順	音声内容	ランプ		
		LP ガス検知・警報部		
		緑（電源）	赤（ガス）	黄（CO）
1	ウーウービッビッビッビッ ガスが漏れていませんか	点滅	点灯	消灯
2	ウーウービッポッビッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	消灯	点灯
3	ビー（終了音）	点灯	消灯	消灯
4	なし	点灯	消灯	消灯

③ 監視状態（緑（電源）ランプが点灯）に戻ります。

14

4-3 ガス警報機能の点検

【ガス採取方法】

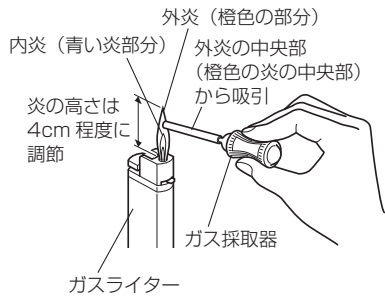
準備いただくもの：点検ガス採取器（付属品）、ガスコンロまたはガスライター（市販品）

△ 注意

●付属の点検ガス採取器以外は、絶対に使用しないでください。
●採取したガスを体内に吸引しないようご注意ください。
吸引しますと、中毒症状を起こす場合があります。
●採取したガスは、ガス警報機能の点検以外には使用しないでください。
●ガスを採取した直後の採取管は、絶対に触らないでください。
採取管を長時間加熱しないでください。
やけどをしたり、ガス採取器が破損するおそれがあります。
●アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。
センサ異常またはセンサ故障の原因になります。



① ガスライター（市販品）またはガスコンロなどを点火し、炎の高さを約4cmに調節する。



おねがい

炎が小さいとガスが採取しにくくなります。

② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎部（橙色部分）に持っていく。

③ 容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。

11

6 廃棄について

本警報器の廃棄の際は、産業廃棄物として法令に従って廃棄してください。

7 お客さまへの説明について

お客さま立ち会いのもとでの点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行い、ご理解を得てください。

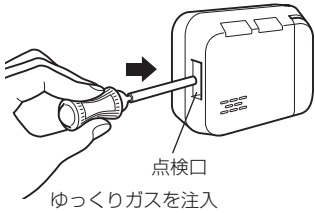
7-1 警報器の説明

① 警報動作および点検結果の説明。
② 取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
③ 取扱説明書、施工説明書の保管のお願い。
④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
1. ガス警報の内容（赤ランプ点灯、警報音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
2. CO警報の内容（黄ランプ点滅または点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
3. ガス、CO警報の同時警報の内容（赤ランプと黄ランプの交互点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
4. 部屋の外にいて、警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
5. 誤報が発生する原因と処置の説明。
6. 異常発生時（故障、電池切れ）の内容（緑ランプ点滅と音声合成音の確認）と処置の説明。
7. LPガス検知・警報部の警報停止スイッチの説明。
●機器故障音声機能
●電池切れ音声機能
●交換期限切れ音声機能
●通信エラー音声機能

15

<LPガス検知・警報部の点検方法>

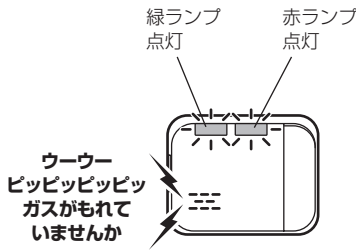
① 採取管の先端部分の温度が下がるまで（約30秒程度）待った後、点検口にゆっくり（約3秒程度）ガスを注入する。



△ 注意

点検ガス採取器の先端をLPガス検知・警報部の中に差し込まないでください。
故障の原因となります。

② 赤ランプが点灯して警報音が鳴れば、正常です。



※ ガスを注入しても、警報を発しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。
それでも警報を発しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。

12

7-2 お客さまへの周知事項

① 警報器の交換期限のお知らせ（本体に表示）。
② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
③ 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお知らせ。
④ 警報器の移設禁止（移設依頼時の連絡先）。
⑤ 警報器の分解禁止。
⑥ 引越時の処置。
⑦ 故障・異常時の連絡先。

新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 (06)6308-3155代
〔北海道〕札幌 (011)231-1101代 〔中部〕名古屋 (052)933-1680代
〔東北〕仙台 (022)295-6061代 静岡 (054)255-1901代
〔北陸〕金沢 (076)234-5611代 〔関西〕大阪 (06)6308-3155代
〔関東〕東京 (03)5403-2706代 〔四国・中国〕岡山 (086)456-5200代
新潟 (025)365-1390代 広島 (082)568-2800代
〔九州〕福岡 (092)431-1881代

16